

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 5 月 17 日 (2007.5.17)

【公開番号】特開 2005-340271 (P2005-340271A)

【公開日】平成 17 年 12 月 8 日 (2005.12.8)

【年通号数】公開・登録公報 2005-048

【出願番号】特願 2004-153335 (P2004-153335)

【国際特許分類】

**H 0 1 L 21/304 (2006.01)**

**B 2 4 B 37/00 (2006.01)**

【F I】

H 0 1 L 21/304 6 2 2 F

B 2 4 B 37/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 23 日 (2007.3.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

研磨面上に一本または複数本の溝を有し、該溝は研磨面の中心部から周辺部へ向かう 1 本の仮想直線と溝とが複数回交差するように研磨面上に設けられており、溝巾が 0 . 1 ~ 1 . 5 mm の範囲にあり、溝深さが 0 . 9 ~ 9 . 8 mm の範囲にあり、上記仮想直線と交差する隣接交差点間の最小距離が 0 . 3 ~ 2 . 0 mm の範囲にありそしてこの研磨パッドの厚みに対する上記溝深さの比が 1 / 7 ~ 1 / 1 . 1 の範囲にある、ことを特徴とする研磨パッド。

【請求項 2】

上記溝の研磨面上における形状が、研磨面の中心部から周辺部へ向かって次第に拡大する 1 本以上のうず巻または互いに交差することがなく且つ円心状に配置された複数個の環もしくは多角形である請求項 1 に記載の研磨パッド。

【請求項 3】

架橋重合体を含む非水溶性マトリックスおよび該非水溶性マトリックス中に分散された水溶性粒子からなる素材で形成されている請求項 1 または 2 に記載の研磨パッド。

【請求項 4】

溝巾が 0 . 2 ~ 1 . 2 mm の範囲にある請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の研磨パッド。

【請求項 5】

溝深さが 3 . 0 ~ 9 . 8 mm の範囲にある請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のパッド。

【請求項 6】

溝深さが 3 . 0 ~ 4 . 5 mm の範囲にある請求項 5 に記載のパッド。

【請求項 7】

仮想直線と交差する隣接交差点間の最小距離が 0 . 5 ~ 2 . 0 mm の範囲にある請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の研磨パッド。

【請求項 8】

研磨パッドの厚みに対する溝深さの比が 1 / 4 ~ 1 / 1 . 3 の範囲にある請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の研磨パッド。

【請求項 9】

溝の内面の表面粗さが  $20\ \mu\text{m}$  以下である請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の研磨パッド。